

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	3 商工・物流
----	---------

政策	4 次世代を担う優れた人材の育成と多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります
----	---

施策	1 次代を担う多様な人材の育成
----	-----------------

施策の目的	本市の伝統工芸業界においては、指導者である職人の高齢化、ライフスタイルの変化による若者の伝統工芸離れが顕著で、後継者対策は喫緊の課題となっています。また、伝統工芸業界の中には1業界の職人数が1、2人という業界も増加してきており、後継者対策や人材育成への行政の積極的な関与が求められています。
-------	---

評価責任者	所属	経済局 商工部 産業振興課
	氏名	課長 石川 賢一

(1) 総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	新規創業者数については概ね目標値を達成、クラフトマンサポート事業については、長期支援では新規2名を含めた6名が利用、独立支援については、進めてきた独立準備が先送りとなり、R2以降の計画に変更となったものの、事業の目的が概ね達成できているため。
	令和2年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	新規創業者数については目標値を達成、クラフトマンサポート事業については、長期支援では新規2名を含めた5名が利用、独立支援では新規1名が利用し、事業の目的が概ね達成できているため。
	令和3年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	新規創業者数については、目標値をわずかに下回ったものの、特定創業の認定は増加しており、クラフトマンサポート事業については、長期支援では新規3名を含めた7名が利用、独立支援では新規2名が利用し、事業の目的が概ね達成できているため。
	令和4年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	新規創業者数について、個別相談窓口等の支援により目標値を達成し、クラフトマンサポート事業については、長期支援事業は新規募集を行い目標人数を達成し、独立支援事業の新規利用者はなかったものの、長期支援事業修了者は実習先事業所での雇用が継続しており、伝統工芸業界における雇用の維持に繋がったことから、事業の目的が達成できているため。

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。－：評価できない。
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

(2) 成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率(%)	評価	目標値の算出根拠
								新規創業者数
クラフトマンサポート事業 新規受入数	①長期支援事業 3名 ②独立支援事業 2名(H29実績)	2	35者	36者	102.8%	a		
		3	35者	31者	88.6%	b		
		4	35者	42者	120.0%	s		
指標 成果 以外の			1	①2名②1名	①2名②0名	①100%②0%	a	H29においては、長期支援事業では3名、独立支援事業では2名の新規受入実績があったが、伝統工芸従事者数が年々減少していることを考慮し、長期支援事業では2名、独立支援事業では1名の新規受入数を維持することを目標として設定した。
			2	①2名②1名	①2名②1名	①100%②100%	a	
			3	①2名②1名	①3名②2名	①150%②200%	s	
			4	①2名②1名	①4名②0名	①200%②0%	a	

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
地場産業後継者育成事業	①短期支援事業；対象者に最長3ヶ月の技術指導実施 ②長期支援事業；対象者に最長2年間の技術指導実施。 ③独立支援事業；対象者の工場等の賃借料に最長3年間補助金交付 ④雇用奨励金事業；長期修了者の雇用主に対し、最長3年間給与の一部を補助金交付	1	1	9,840	0	6,685	0.3	0.0	0.0	○
			2	9,060	0	4,812	0.3	0.0	0.0	
			3	8,325	0	7,742	0.3	0.0	0.0	
			4	12,280	0	8,147	0.3	0.0	0.0	
静岡市プラモデルプライドプロジェクト推進事業 (人財づくり) ※旧ものづくり教育推進事業	①出前授業の実施 市内小学校の授業の中で、プラモデルをテーマに座学と工作体験を実施 ②静岡ホビーショー小中高校生招待日における市内小学校の参加支援 静岡ホビーショー小中高校生招待日に参加する市内小学校に対し、送迎バスの手配等支援を実施。	2	1	3,800	0	2,673	0.2	0.0	0.0	○
			2	1,000	0	953	0.2	0.0	0.0	
			3	1,530	0	680	0.2	0.0	0.0	
			4	4,330	0	4,293	1.4	0.5	0.0	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例 (◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、－：計画実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった)

(4) 今後の取組や方向性

次代を担う多様な人材の育成のため、今後も産学交流センター及び中小企業支援センターによる新規創業者支援を継続するとともに、伝統技能の承継支援についてはクラフトマンサポート事業を引き続き実施する。また、市内小学校にて行うプラモデルを活用した出前講座や静岡ホビーショー小中高校生招待事業を通して、子どもたちのものづくりに対する興味関心を醸成し、将来のものづくり人財確保に繋げていく。

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	3 商工・物流
----	---------

政策	4 次世代を担う優れた人材の育成と多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります
----	---

施策	2 若者や女性、高齢者、障がい者の雇用機会の創出
----	--------------------------

施策の目的	労働力人口の減少・高齢化が進む中で、若者や女性・高齢者・障がい者などより多くの就労参加を促進し、地域社会や産業を支える人材の確保を図ります。
-------	--

評価責任者	所属	経済局 商工部 商業労政課
	氏名	課長 平尾 隆司

(1) 総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	表彰数については4社であったが、各社の取組内容は非常に高いレベルで市内事業所の手本とすることができ、表彰式の開催等で市内に広く取り組み周知することができた。また、若者の指標である就職支援関連事業における市内企業への就職関心度が、97%と目標を大きく上回る結果となり総合評価をAとした。
	令和2年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	新型コロナウイルス感染症の影響により表彰事業を実施できなかったが、就職支援関連事業における市内企業への就職関心度が、97.5%と目標を大きく上回る結果となり総合評価をAとした。
	令和3年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	表彰事業については目標値の5者を上回る8社の表彰を実施できたことや就職支援関連事業における市内企業への就職関心度が、97.5%と目標を達成したことから総合評価をAとした。
	令和4年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	表彰数については4社であったが、各社の取組内容は非常に高いレベルで市内事業所の手本とすることができ、表彰式の開催等で市内に広く取り組み周知することができた。また、若者の指標である就職支援関連事業における市内企業への就職関心度が、95%と目標を上回る結果となり総合評価をAとした。

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。－：評価できない。
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

(2) 成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
			1	5社	4社	80.0%	b	
2	5社	—	—	—				
3	5社	8社	160.0%	s				
4	5社	4社	80.0%	b				
就職支援関連事業における市内企業への就職関心度	89.1% (H30)	1	90%	97%	108%	s	直近3か年の実績値（R1：97%、R2：94.0%、R3：95.8%） 【年間目標値】 首都圏へ進学した学生や他県から静岡へ進学している若者をはじめ、市内企業の情報が十分に行き届いていない現状を踏まえ、大学3年生以下の就職活動前に、市内企業に対する関心を高め、企業研究を促すことが重要である。このことから、本事業による学生アンケートを通じた、市内企業の就職関心度を指標とするとともに、過去の実績から、90%維持を目標値として設定した。	
		2	90%	94%	96%	a		
		3	90%	96%	107%	s		
		4	90%	95%	106%	s		
指標成果以外の	ダイバーシティ経営推進セミナーでは、管理者向け、従業員向け共に、参加者アンケート結果より満足度（「大変役に立った」の回答者数+「役に立った」の回答者数）が100%となった。	1						
		2						
		3						
		4						

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
地元就職・U/IJターン就職の促進	1 若者向け企業研究機会の創出 ① 企業情報収集・更新 ② 市内で働く魅力発見セミナー ③ 女子学生と女性社員のU/IJターン促進交流会 ④ 中小企業向けインターンシップ ⑤ 若者就活応援サイト「しずまっち」の運営 ⑥ 市内高校同窓会の就職支援情報誌制作支援 ⑦ 高校生向けキャリア形成支援	1	1	14,184	0	14,162	2.0	0.1	0.0	○
			2	15,999	0	14,932	2.0	0.1	0.0	
			3	14,565	0	14,548	2.0	0.1	0.0	
			4	14,354	0	14,350	2.0	0.1	0.0	
女性の就労環境の整備	①ダイバーシティ経営推進セミナー ②多様な人材の活躍応援事業所表彰 ③表彰受賞事業所等の取組の見える化	2	1	3,992	0	2,114	0.5	0.1	0.0	○
			2	3,989	0	2,564	0.5	0.1	0.0	
			3	3,506	0	2,073	0.5	0.1	0.0	
			4	2,707	0	1,872	0.5	0.1	0.0	
企業OB等による中小企業支援	①市内中小企業と企業OB等とのマッチング支援 ②企業向け、人材向けセミナー	4	1	12,120	0	12,087	0.3	0.0	0.0	○
			2	12,100	0	12,100	0.3	0.0	0.0	
			3	10,734	0	10,734	0.3	0.0	0.0	
			4	10,732	0	10,732	0.3	0.3	0.0	
新幹線通学費貸与事業	①県外の大学等へ通う学生に対し、新幹線通学定期券の購入に要する経費の一部を貸与 ②当該事業周知のため、市内全高校に対し、チラシ等を配布 ③当該事業利用者へ定期的に地元就職情報を送付	2	1	67,450	0	46,302	1.5	0.5	0.0	○
			2	59,151	0	16,905	1.5	0.5	0.0	
			3	49,843	0	27,263	1.5	0.5	0.0	
			4	48,564	0	43,709	1.5	0.5	0.0	
障がい者の雇用確保支援事業	①障害者面接会の開催 ②精神・発達障害者しごとサポーター養成講座の開催	5	1	365	0	152	0.2	0.1	0.0	○
			2	378	0	181	0.1	0.0	0.0	
			3	337	0	144	0.1	0.0	0.0	
			4	337	0	280	0.1	0.0	0.0	

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、－：計画上実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった）

(4) 今後の取組や方向性

少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少により、人手不足はより一層深刻化しており、市内企業の継続的な発展を実現するためには、多様な人材の活用の必要性が高まっていることから、多様な人材が活躍する雇用の場の創出とともに、人材の育成により労働者の質の向上にも努めていく。

【地元就職・U/IJターン就職の促進】
事業対象者に対して、引き続き、早期からのキャリア形成支援に取り組むとともに、しずまっち等を活用しながら、若者と企業が相互交流できる機会を創出し、市内企業への関心を高められるよう努めていく。

【女性の就労環境の整備】
女性の就業率の上昇、高齢化の進行に伴い、仕事と子育て・介護等との両立支援に係るニーズが増加傾向にあることから、今後もダイバーシティ経営の推進に関するセミナーを通じた普及啓発は重要である。一方、これまでのセミナーの受講者からはすぐにダイバーシティ経営に取り組むことは難しいという声がある。こうしたことから、セミナーとは別に、受講後に少人数単位の座談会、グループワークを含むフォローアップ研修を実施するなど拡充に努めていく。

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	3 商工・物流
----	---------

政策	4 次世代を担う優れた人材の育成と多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります
----	---

施策	3 良質な就労環境の創出
----	--------------

施策の目的	勤労者に福利厚生やスキル向上の機会を提供し、誰もが活躍しやすい就労環境づくりに取り組みます。
-------	--

評価責任者	所属	経済局 商工部 商業労政課
	氏名	課長 平尾 隆司

(1) 総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	主要事業を計画通り実施し、成果指標に掲げる目標を概ね達成した。また、各勤労者福祉センターの利用者満足度も高く、勤労者の福利厚生やスキル向上の機会の提供を図ることができたため総合評価はAとした。
	令和2年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	事業として優先度の高いジョイブ静岡に関して、成果指標としている会員数が増加していることや、働きやすいと思う市民の割合についても成果指標の目標値には到達していないものの、昨年度よりも増加していることから総合評価はAとした。
	令和3年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	ジョイブ静岡に関して、コロナ禍で活動が制限される中であったも会員事業所数は増加しており会員人数も大幅な減少はないことや、働きやすいと思う市民の割合についても増加していることから総合評価はAとした。
	令和4年度	B：施策の目的があまり達成されていない。	理由	ジョイブ静岡に関して、コロナ禍の影響や物価高騰など様々な障壁がある中であったも会員事業所数は増加しており、会員人数も大幅な減少はなかったが、働きやすいと思う市民の割合については減少しているため総合評価はBとした。

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。－：評価できない。
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

(2) 成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（％）	評価	目標値の算出根拠
			1	50.50%	49.20%	97.4%	a	
働きやすいまちと思う市民の割合	48.8% (H30)	2	55%	51.10%	92.9%	b	直近3か年の実績値（R1：49.2%、R2：51.1%、R3：52.1%） 【年間目標値】 各年4～5%の割合増加を目標として、設定した。 【外的要因あり】 時勢に影響を受ける可能性が高い。	
		3	59%	52.10%	88.3%	b		
		4	63%	41.20%	65.4%	d		
		1	17,800人	17,468人	98.1%	a		直近3か年の実績値（H29：16,121人、H30：16,707人、R1：17,794人） 【年間目標値】 当団体が定める事業計画書及び外郭団体経営委計画書に基づく目標値を設定
		2	18,700人	17,794人	95.2%	a		
		3	19,600人	17,586人	89.7%	b		
		4	20,500人	17,844人	87.0%	b		
		1						
2								
3								
4								
指標以外の成果								

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
勤労者福祉サービスセンター支援事業	①勤労者福祉サービスセンターの運営に係る補助金交付 ②当団体の認知度を高めるための広報支援	1	1	39,652	0	39,652	0.3	0.1	0.0	○
			2	39,746	0	39,746	0.3	0.1	0.0	
			3	39,723	0	39,723	0.3	0.1	0.0	
			4	39,633	0	39,633	0.3	0.1	0.1	
東部勤労者福祉センター（清水テルサ）特定天井改修工事	施設改修工事(R2完了)	2	1	131,400	0	0	0.2	0.0	0.0	○
			2	123,040	0	112,161	0.2	0.0	0.0	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
女性の就労環境の整備（再掲）	①ダイバーシティ経営推進セミナー ②多様な人材の活躍応援事業所表彰 ③表彰受賞事業所等の取組の見える化	3	1	3,992	0	2,114	0.5	0.1	0.0	○
			2	3,989	0	2,564	0.5	0.1	0.0	
			3	3,506	0	2,073	0.5	0.1	0.0	
			4	2,707	0	1,872	0.5	0.1	0.0	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった）

(4) 今後の取組や方向性

働き方やライフスタイルの多様化に伴い、勤労者のニーズは目まぐるしく変化している傾向にあり、「良質な職場環境の創出」に向けては従前の取組を継続するのではなく、随時施策の見直しを図っていく必要があると考えている。

【勤労者福祉サービスセンター支援】

令和4年度までは、令和元年度に策定した経営計画に基づき取り組んだものの、感染症や世界的な物価高騰等により、会員数は伸び悩んでしまった。

しかし、社会状況に応じた施策を講じることにより、最大限会員に還元されるよう取り組んでいる。

令和5年度以降は新たな経営計画に基づいて運用していくため、最新の勤労者ニーズや社会状況を見極めたセンターの運営に取り組み、勤労者福祉の向上に努めていく。